

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

353

四季の郷公園管理運営事業（四季の郷公園）

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	3	農林水産業の活性化
施策	1	農林業の振興
取組方針	4	農業と環境の共生

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	農林水産業費		
	項	農林緑花費		
	目	四季の郷公園事業費		
	大事業	四季の郷公園事業		
	中事業	四季の郷公園管理運営事業（四季の郷公園）		

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel 農林水産課 田中 克弥 435-1049
事業実施の根拠法令			関連課	

1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要			
	四季の郷公園（緑花果樹苑）利用者の安全確保及び施設利用の推進		四季の郷公園緑花果樹苑の管理運営を行う			
事業内容		令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		緑花果樹苑及びその各施設、設備の管理維持 地域振興イベント(まつりなど)の企画、実施 市民にいきこの場を提供	緑花果樹苑及びその各施設、設備の管理維持 地域振興イベント(まつりなど)の企画、実施 市民にいきこの場を提供	緑花果樹苑及びその各施設、設備の管理維持 地域振興イベント(まつりなど)の企画、実施 市民にいきこの場を提供	緑花果樹苑及びその各施設、設備の管理維持 地域振興イベント(まつりなど)の企画、実施 市民にいきこの場を提供	

2 事業コスト

事業費等（千円）	令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	31,434	31,050	36,825	36,409	41,046	38,265	41,073	0	0	0
伸び率（%）	△5.4%	△4.7%	17.2%	17.3%	11.5%	5.1%	0.1%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	1,940	2,172	5,917	5,761	5,972	5,815	5,893	0	0
	正規職員以外	1,308	1,308	500	500	512	512	972	0	0
	小計	3,248	3,480	6,417	6,261	6,484	6,327	6,865	0	0
国庫支出金	564	345	12,716	9,640	11,705	11,245	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	7,002	5,889	3,527	3,526	3,528	3,853	6,241	0	0	0
一般財源（税等）	23,868	24,816	20,582	23,243	25,813	23,167	34,832	0	0	0
所要人数 （人）	正規職員	0.25	0.28	0.76	0.74	0.76	0.74	0.75	0.00	0.00
	正規職員以外	0.57	0.57	0.10	0.10	0.10	0.10	0.19	0.00	0.00
主な予算内訳	管理運営委託料34,610千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
イベント開催回数		回	目標値	3	28	28	28	
			実績値	0	36	38		
			達成度(%)	0%	%	%	%	%
公園利用者数		人	目標値	200000	200000	200000	200000	
			実績値	167000	230000	180000		
			達成度(%)	150%	%	%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	公園利用者が増加傾向にあり、引き続き利用者が安全で快適に利用できる公園の維持管理が必要である。
見直し・改善内容	公園利用者は増加傾向にあり、またリニューアルにより増加しうるインバウンドや幅広い世代のニーズに対応した管理が必要である。